

地方公営企業法第 40 条の 2 第 1 項の規定に基づき、業務の状況について公表します。

令和 3 年 5 月

白河地方広域市町村圏整備組合  
管理者 鈴木 和 夫

## 白河地方広域市町村圏整備組合水道用水供給事業の 業務の状況について

### 1 令和 3 年度事業の概要

令和 3 年度水道用水供給事業会計予算が、去る 2 月 19 日開催の当組合議会 2 月定例会において可決されましたのでお知らせします。

#### (1) 総括事項

本年度の業務としましては、供給 6 市町村（白河市、矢吹町、西郷村、泉崎村、中島村及び棚倉町）を対象とし、年間総給水量 7,778,150 m<sup>3</sup>、一日最大給水量 21,310 m<sup>3</sup>を供給する予定です。前年度に引き続き、計画的な設備機器類の機能維持を図りながら、合理的な運転管理と健全な経営に努めるとともに、清浄でおいしい水の安定供給を図ってまいります。

本年度の予算につきましては、収益的収入は供給 6 市町村からの用水料金及び長期前受金戻入などを計上しています。収益的支出は当組合の芝原浄水場維持管理や保守点検、浄水に必要な動力費や薬品費、水質検査に要する経費、減価償却費、企業債利息、職員給与費などを計上しています。これら支出項目毎に適正かつ効率的に執行することを踏まえ、収益的収入は 1,209,709 千円、収益的支出は 876,609 千円を計上しました。資本的収支につきましては、資本的収入 1,096,700 千円（企業債）、資本的支出 1,463,511 千円（建設改良費、企業債償還金）を計上しました。資本的収入額が支出額に対し不足する額 366,811 千円は、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金などで補てんします。

本年度の主な事業としましては、日常的な浄水場運転維持管理のほか、年次計画に基づいた施設の保守点検や修繕、そして、原水や浄水の水質検査などを行います。修繕工事として、脱水機設備・排水処理施設設備修繕、急速ろ過池設備修繕、各流量計室電磁式水道メーター修繕（5 か年計画の 3 年目）、各設備における消耗部品の交換整備など年次計画に基づき実施します。また、建設改良費としましては、浄水場中央監視制御設備更新事業と、福島県管理の堀川ダムについて、県の長寿命化計画に基づく堰堤改良事業（6 年目）実施に伴い、利水者側である当組合の負担割合 29.6%分を負担します。

(2) 収支の状況

イ 収益的収支

(単位：千円)

区 分		令和3年度 当初予算額	令和2年度 当初予算額	比 較 増 (△) 減	備考
収益的 収支	営業収益	726,054	726,054	0	
	営業外収益	435,390	384,014	51,376	
	特別利益	48,265	48,265	0	
	計	1,209,709	1,158,333	51,376	
費用	営業費用	820,684	844,435	△ 23,751	
	営業外費用	50,924	95,030	△ 44,106	
	特別損失	1	1	0	
	予備費	5,000	5,000	0	
計	876,609	944,466	△ 67,857		

ロ 資本的収支

(単位：千円)

区 分		令和3年度 当初予算額	令和2年度 当初予算額	比 較 増 (△) 減	備考
資本的 収入	企業債	1,096,700	107,100	989,600	
	計	1,096,700	107,100	989,600	
資本的 支出	建設改良費	1,096,770	107,235	989,535	
	企業債償還金	366,741	372,264	△ 5,523	
計	1,463,511	479,499	984,012		

※資本的収入額が支出額に対し不足する額366,811千円は、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金など366,811千円で補てんする。

(3) 予定貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
1. 固定資産	13,765,164	3. 固定負債	2,799,386
(1) 有形固定資産	8,189,762	(1) 企業債	2,749,386
(2) 無形固定資産	5,575,402	(2) 引当金	50,000
2. 流動資産	645,700	4. 流動負債	370,018
(1) 現金預金	543,963	(1) 企業債	357,937
(2) 未収金	80,641	(2) 未払金	7,630
(3) 貯蔵品	21,096	(3) 引当金	4,451
		5. 繰延収益	9,083,466
		(1) 長期前受金	18,276,745
		(2) 収益化累計額	9,193,279
		6. 資本金	1,406,006
		7. 剰余金	751,988
		(1) 資本剰余金	55,653
		(2) 利益剰余金	696,335
資産合計	14,410,864	負債資本合計	14,410,864

## 2 令和 2 年度事業の状況（令和 3 年 3 月 31 日現在）

### (1) 事業の概要

令和 3 年 3 月 31 日現在の予算執行状況としましては、収益的収入の予算額 1,158,333 千円に対し、用水料金及び長期前受金戻入等による 1,160,790 千円（100.21%）の執行済額となり、収益的支出の予算額 943,550 千円に対しては、経営に伴う施設維持管理費・減価償却費等による 918,613 千円（97.36%）の執行済額となりました。また、資本的収支につきましては、資本的収入の予算額 99,400 千円に対し、企業債による 99,400 千円（100.00%）の執行済額となり、資本的支出の予算額 489,459 千円に対しては、建設改良費及び企業債償還金による 489,458 千円（100.00%）の執行済額となりました。

水道水の供給状況としましては、供給市町村への総送水量が 7,433,068 m<sup>3</sup>となり、有収水量は 7,377,967 m<sup>3</sup>、有収率は 99.3% となりました。引き続き、安全な水の安定供給に努めてまいります。

令和 2 年度の主な事業としましては、水道用水供給のための日常的な運転・維持管理、芝原浄水場・堀川ダムにおける原水や浄水の水質検査・放射性物質モニタリング検査を実施したほか、当組合施設における修繕工事として、芝原浄水場の脱水機設備及び排水処理施設設備修繕、各流量計室の電磁式水道メーター修繕（5 年計画の 2 年目）、急速ろ過池設備の劣化による消耗部品の交換整備などを年次計画に基づき実施しました。また、建設改良費としましては、浄水場及び場外施設電気計装設備更新に伴う実施設計業務委託料と、福島県管理の堀川ダムについて、県の長寿命化計画に基づく堰堤改良事業（5 年目）実施に伴い、利水者側である当組合の負担割合 29.6%分を負担しました。

当組合では、水道水の放射性物質モニタリング検査を週 1 回行っていますが、現在の状況は水道水中の放射性物質に係る管理目標値を下回っています。そのほか、原水（浄水場入口水）のモニタリング検査を週 1 回、堀川ダム流入水（堀川・横川）のモニタリング検査を月 1 回の検査頻度で行っていますが、いずれも管理目標値を下回っています。

(2) 経理の状況

令和2年度予算執行状況 (R3.3.31現在)

イ 収益的収支

(単位：千円)

区 分		令和2年度 当初予算額	補正予算額	予備費支出額 流用増減額	現計予算額 (A)	上期執行済額	下期執行済額	執行累計額 (B)	予算残額 (A)-(B)	執行率(%) (B)/(A)	
収益的 収支	収益	営業収益	726,054	0	726,054	363,027	363,028	726,055	△ 1	100.00	
		営業外収益	384,014	0	384,014	11	384,046	384,057	△ 43	100.01	
		特別利益	48,265	0	48,265	48,263	2,415	50,678	△ 2,413	105.00	
		計	1,158,333	0	1,158,333	411,301	749,489	1,160,790	△ 2,457	100.21	
	費用	営業費用	844,435	△ 3,251	0	841,184	84,405	739,150	823,555	17,629	97.90
		営業外費用	95,030	2,335	0	97,365	30,069	64,989	95,058	2,307	97.63
		特別損失	1	0	0	1	0	0	0	1	0.00
		予備費	5,000	0	0	5,000	0	0	0	5,000	0.00
		計	944,466	△ 916	0	943,550	114,474	804,139	918,613	24,937	97.36

ロ 資本的収支

(単位：千円)

区 分		令和2年度 当初予算額	補正予算額	現計予算額 (A)	上期執行済額	下期執行済額	執行累計額 (B)	予算残額 (A)-(B)	執行率(%) (B)/(A)	
資本的 収支	収入	企業債	107,100	△ 7,700	99,400	0	99,400	99,400	0	100.00
		計	107,100	△ 7,700	99,400	0	99,400	99,400	0	100.00
	支出	建設改良費	107,235	9,960	117,195	0	117,195	117,195	0	100.00
		企業債償還金	372,264	0	372,264	185,050	187,213	372,263	1	100.00
		計	479,499	9,960	489,459	185,050	304,408	489,458	1	100.00

※資本的収入額が支出額に対し不足する額390,058千円は、過年度分損益勘定留保資金138,287千円、減債積立金223,321千円、建設改良積立金17,795千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額10,654千円で補てんした。

## (3) 損益計算書

(単位：千円)

区 分	上期分	下期分	累計額
営業収益	330,025	330,025	660,050
営業費用	350,958	455,157	806,115
営業利益	△ 20,933	△ 125,132	△ 146,065
営業外収益	191,908	192,149	384,057
営業外費用	30,069	27,887	57,956
経常利益	140,906	39,130	180,036
特別利益	48,263	2,415	50,678
特別損失	0	0	0
当年度純利益	189,169	41,545	230,714
前年度繰越利益剰余金	0	0	0
その他未処分利益剰余金変動額	0	241,116	241,116
当年度未処分利益剰余金	189,169	282,661	471,830

※年度末において一括予算執行を行う長期前受金戻入及び減価償却費については、上期分・下期分としてそれぞれ推定される額を計上。

## (4) 予定貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
1. 固定資産	13,311,073	3. 固定負債	2,060,626
(1)有形固定資産	7,600,552	(1)企業債	2,010,626
(2)無形固定資産	5,710,521	(2)引当金	50,000
2. 流動資産	555,062	4. 流動負債	385,563
(1)現金預金	533,781	(1)企業債	366,740
(2)未収金	0	(2)未払金	14,302
(3)貯蔵品	21,281	(3)引当金	4,307
		(4)その他流動負債	214
		5. 繰延収益	9,467,191
		(1)長期前受金	18,276,745
		(2)収益化累計額	8,809,554
		6. 資本金	1,406,007
		7. 剰余金	546,748
		(1)資本剰余金	55,653
		(2)利益剰余金	491,095
資産合計	13,866,135	負債資本合計	13,866,135

区分	前年度末残高	令和2年度		3月末現在残高
		3月末現在借入高	3月末現在償還高	
企業債	2,650,228	99,400	372,262	2,377,366